

前期 文献と考古学から探る
阪神地域の古代と国際交流

後期 まちづくりとデザインから見る
オリンピック・パラリンピック

2019年度は新たな試みとして、前期・後期でそれぞれ異なるテーマを設定しました。前期はこれまでも人気の高かった史学の世界を地元・阪神地域から探ります。そして後期は、いよいよ本国での開催を翌年に控えた、オリンピック・パラリンピックに注目します。外部からの講師もお招きし、本学教員と合わせて7人で送るリレー講座。皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。

開講日

前期：2019年4・5・6・7月 / 各月第2土曜日13:30～15:00
後期：2019年9・10・11・12月 / 各月第3土曜日13:30～15:00

受講申込受付期間

2019年2月1日(金)～3月8日(金) **定員** 100名

受講料

全8回：7,000円、前期または後期：3,500円、各回：1,500円

注意事項

1. 定員に達した時点で受付を終了いたします。
2. 申し込み時にいただいた個人情報、講座関係の連絡や大手前学園からの各種お知らせ以外には使用いたしません。
3. 入金確認後の受講キャンセルは、理由を問わずいっさい返金を致しかねますので、キャンセルされる場合は受講料振込みの前に大手前シティカレッジ事務局までご連絡ください。
4. お車でのご来学はご遠慮ください。

申込方法

- ① Webサイトでのお申し込み
大学 Webサイト (<http://www.otemae.ac.jp/social/learning/lecture>) または QRコード「公開講座」サイト・申込フォームから、必要事項を入力し送信してください。
■ FAXでのお申し込み
受講申込用紙(下記)に記入し、FAXで大手前シティカレッジ事務局(0798-32-5147)へ送信してください。
■ はがきでのお申し込み
必要事項(受講希望回、氏名、住所、電話番号、メールアドレス、受講番号、個人情報の取り扱いについて：下記参照)を記入した官製はがきを、大手前シティカレッジ事務局宛てに郵送ください。(住所下記参照)
- ② 大手前シティカレッジ事務局より「受講料振込み」について、メール、FAX、郵送いずれかにてお知らせします。受講料は期日までにお支払いください。
- ③ ご入金確認後、3月中旬以降に受講証を郵送いたします。公開講座出席時に受付でお示しください。

2019年度 大手前大学・大手前短期大学 公開講座 受講申込用紙

※印は必須記入項目です。FAX番号またはメールアドレスは必ずどちらかご記入ください。

フリガナ	※性別	※電話番号	() -
※氏名	男性 女性	FAX 番号	() -
※住所	〒	※生年月日	年 月 日
メールアドレス	受講番号(受講歴がある場合):		
ご希望の講座に <input checked="" type="checkbox"/> 印をつけてください <input type="checkbox"/> 全8回 <input type="checkbox"/> 前期4回 <input type="checkbox"/> 後期4回 各回 <input type="checkbox"/> 4月 <input type="checkbox"/> 5月 <input type="checkbox"/> 6月 <input type="checkbox"/> 7月 <input type="checkbox"/> 9月 <input type="checkbox"/> 10月 <input type="checkbox"/> 11月 <input type="checkbox"/> 12月			
★アンケートにご協力ください。該当する番号に○印をつけてください。今回本講座を何でお知りになりましたか？			
1. 2018年度受講時の案内 2. 本学 Web サイト 3. 朝日ファミリー 4. 公共施設(公民館・図書館)設置のパンフレット			
5. 駅貼りポスター(駅名:) 6. 友人・知人の紹介(ご紹介者名:) 7. 事務局からの案内			
8. その他()			
* ご記入いただきました個人情報を、本学園の個人情報保護への取り組み※1(プライバシーポリシー)に基づき、受講関係の連絡や資料送付、関連情報のお知らせに使用することに <input type="checkbox"/> 同意する <input type="checkbox"/> 同意しない			
※1 本学 Web サイト (http://www.otemae.ac.jp/about/activity/privacy.html) 参照			

申込サイト

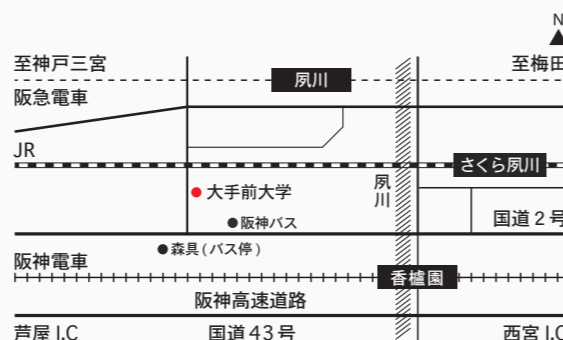


お問い合わせ先

大手前大学・大手前短期大学
地域・社会連携室 大手前シティカレッジ事務局
〒662-8552 兵庫県西宮市御茶家所町6-42
TEL: 0798-32-7532 FAX: 0798-32-5147
Email: occi@otemae.ac.jp

交通案内

JRさくら夙川駅、阪急夙川駅、阪神香櫛園駅
各駅から徒歩約7分



Webサイト

大手前大学 公開講座

前期

文献と考古学から探る
阪神地域の古代と国際交流

阪神地域の古墳と国際交流

森下 章司 (大手前大学)

阪神地域の古代氏族

溝口 優樹 (大手前大学)

古代日本の国際交流と阪神地域

溝口 優樹 (大手前大学)

考古学からみた古代の大阪—難波宮・京を中心に— 市川 創 (大手前大学/大阪府教育庁)

※各回のテーマならびに内容は、都合により変更が生ずることもあります。ご了承ください。

開講日

前期 2019 4月 2019 5月 2019 6月 2019 7月
各月第2土曜日13:30～15:00

後期

まちづくりとデザインから見る
オリンピック・パラリンピック

1972年札幌オリンピックにみる都市と建築

角 哲 (名古屋市立大学)

オリンピック競技場のデザイン

玉田 浩之 (大手前大学)

東京オリンピックエンブレム 1964 / 2020

松本 尚 (大手前大学)

インバウンドにおけるホテル・民泊の展望

川島 正章 (大手前大学)

※各回のテーマならびに内容は、都合により変更が生ずることもあります。ご了承ください。

開講日

後期 2019 9月 2019 10月 2019 11月 2019 12月
各月第3土曜日13:30～15:00

会場 大手前大学 さくら夙川キャンパス

受講申込受付期間

受講料

2019年2月1日(金)～3月8日(金) 全8回：7,000円、前期または後期：3,500円、各回：1,500円

定員 100名 ※詳しくは事務局までお問い合わせください。

お申し込み・お問い合わせ先

大手前大学・大手前短期大学 地域・社会連携室 大手前シティカレッジ事務局
〒662-8552 兵庫県西宮市御茶家所町6-42 TEL: 0798-32-7532 FAX: 0798-32-5147



前期 文献と考古学から探る 阪神地域の古代と国際交流

前期 2019 4月 2019 5月 2019 6月 2019 7月
各月第2土曜日13:30~15:00

1 大手前大学 総合文化学部
もりした しょうじ
森下 章司

第1回 4月13日(土)
阪神地域の古墳と国際交流

古墳時代には朝鮮半島や中国との交易がいっそう盛んになり、瀬戸内海を利用した海路の重要性が高まります。その中で中継地として大きな役割を果たしたのが阪神地域でした。講座では、古墳と中国・朝鮮半島の出土品から大陸との交際交流の様子を検討するとともに、近年の発掘調査から浮かび上がってきた「津(古代の港)」としての阪神地域の意義をみていきます。

2 大手前大学 総合文化学部
みぞぐち ゆうき
溝口 優樹

第2回 5月11日(土)
阪神地域の古代氏族

日本古代においては、氏族が政治集団として重要な役割を果たしました。王権中枢に程近い阪神地域には、国造に任じられた凡河内氏をはじめとする地方豪族だけでなく、倭王権の職務を分掌する有力な氏族が拠点を構えました。各氏族はそれぞれの地域で、どのような役割を担ったのでしょうか。本講座では、阪神地域を舞台に活躍した氏族の系譜や伝承を紐解きつつ、その実態に迫るとともに、阪神地域の歴史的な性格についても考えます。

3 大手前大学 総合文化学部
みぞぐち ゆうき
溝口 優樹

第3回 6月8日(土)
古代日本の国際交流と阪神地域

古代日本の歴史的展開を考えるうえで、国際交流の視点は欠かせません。阪神地域には重要な港湾施設が設けられ、人々が近畿地方と東アジア諸地域を往来するうえで重要な役割を果たしました。また、地域社会に目を向けると、渡来人の活動が顕著にみられます。では、具体的にどのような人々が、それぞれの地域でどのような活動をおこなったのでしょうか。こういった視点から本講座では、国際交流のなかで阪神地域が担った役割について考えます。

4 大手前大学 総合文化学部
大阪府教育庁 文化財保護課
いちかわ つくる
市川 創

第4回 7月13日(土)
考古学からみた古代の大阪
—難波宮・京を中心に—

難波宮は、大化改新の舞台になるなど、日本史を考えるうえで重要な位置にあります。しかしながら、飛鳥・奈良・京都に築かれた都城に比べ、認知度が低いのが実状です。そこで本講座では、考古学的に確かめられている前期(「難波長柄豊碇宮」に比定)・後期(聖武天皇が再建した8世紀の宮殿に比定)の2時期の遺構をはじめ、大都市の地下に眠るかつての都市域(「京」)に関する最新の研究状況を紹介します。難波宮・京の歴史的意義に迫ります。

後期 まちづくりとデザインから見る オリンピック・パラリンピック

後期 2019 9月 2019 10月 2019 11月 2019 12月
各月第3土曜日13:30~15:00

5 名古屋市立大学大学院 芸術工学研究科
かく さとる
角 哲

第5回 9月21日(土)
1972年札幌オリンピックにみる都市と建築

本講では、1972年に日本・アジア初の冬季オリンピックが開催された北海道札幌市に目を向けます。オリンピックの概要を振り返りつつ、著名建築家が設計した関連施設はもちろん、寒冷地での建築施工、郊外の住宅地開発、都市交通網の整備と更新などを例にあげつつ、開催が決定してから都市がどのような変化を遂げたのかを追い、オリンピック開催後の都市の成果と課題について考えてみたいと思います。

6 大手前大学 メディア・芸術学部
たまだ ひろゆき
玉田 浩之

第6回 10月19日(土)
オリンピック競技場のデザイン

オリンピック競技場は新しいデザインで注目を集める一方で、そのデザインをめぐって賛否を巻き起こすことがあります。これまでにどのようなデザインが登場し、議論されてきたのでしょうか。過去のオリンピック競技場を振り返りながら、それぞれのデザインの見どころ、その背後にある考え方について解説します。

7 大手前大学 メディア・芸術学部
まつもと なお
松本 尚

第7回 11月16日(土)
東京オリンピックエンブレム
1964 / 2020

オリンピック・パラリンピックは国際的スポーツの祭典です。また世界規模の一大イベントでもあります。高度経済成長真っ只中である1964年。そしてバブル崩壊、緩やかな回復を見せつつある2020年。この国を挙げてのイベントを支える重要なビジュアルワークの一つとしてエンブレムデザインがあります。時代をさかのぼり様々なオリンピックエンブレムを視覚的に比較、検証しながら、この二つのオリンピックに関わったデザイナーの制作過程をたどり、その時代、これからの日本を考察します。

8 大手前大学 現代社会学部
かわしま まさあき
川島 正章

第8回 12月21日(土)
インバウンドにおける
ホテル・民泊の展望

数あるスポーツイベントの中でも、最も人気の高いオリンピック・パラリンピックが2020年東京で催されます。主会場となる国立競技場は1964年第18回大会で使用された国立競技場を改修し、新たに生まれ変わります。また、主会場以外にも多くの競技施設が必要である一方、選手をはじめ運営関係者、世界各国からの参観者用の宿泊施設も必要となってきます。こうした需要にこたえるべく、東京都内はもとより関東地区を中心に、急ピッチで増築・改修が始まっています。また、既存施設とは異なった、民泊などの宿泊施設の動きも活発になってきています。このような宿泊施設の動向について検証します。